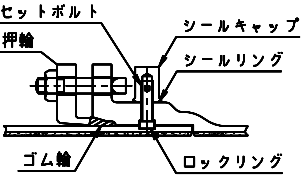
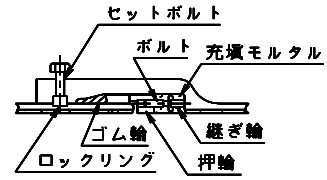
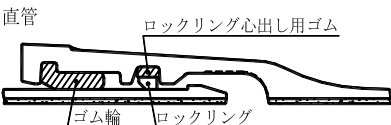
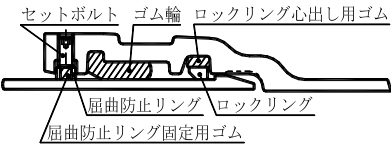


KF形、UF形、NS形、SII形、S形、US形、フランジ形

JIS G 5526, 5527で定められているその他の接合形式について、適用呼び径、管種、特徴、設計・施工の留意点等を、以下に示す。

接合形式	呼び径(mm)	管種	特 徴	設計・施工の参考
KF形	300~900	DPF	<p>離脱防止機構を持つメカニカルタイプで、K形またはU形の受口部及び挿し口部にロックリングのかかり合う溝を設けたものである。</p> <p>継手の水密機構は、K形またはU形と同じである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 離脱防止用（曲管部、T次管部、片落管部、伏せ越し部等） アンカーブロックを省略あるいは軽減できる。 継手を陸継ぎし、掘削溝内に布設する方法がとれる。 現地で切管した場合、挿し口溝加工が必要。 使用本数は、使用条件に合わせて設計される。
UF形	700~2,600	DPF		
NS形	75~250	D1~D3	 <p>大きな伸縮性及び可とう性を持つプッシュインタイプで、最終的には受口と挿し口がかかり合って離脱防止の役目をする。</p> <p>継手の水密機構は、T形と同じである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 対地盤変動用（耐震用、軟弱地盤用等） 許容曲げ角度を考慮すること。 NS形を現地で切管する場合は、挿し口部に溝加工を行い、切管用挿し口リングを用いて突部を形成する。 NS形管の現地切管は、原則として行わない。
			 <p>直管</p>  <p>異形管</p>	

接合形式	呼び径 (mm)	管種	特 徴	設計・施工の参考
S II形	75～450	D1～D3	<p>大きな伸縮性及び可とう性を持つメカニカルタイプで、最終的には受口と挿し口がかかり合っ て離脱防止の役目をする。</p> <p>継手の水密機構は、K形と同じである。</p>	<p>・対地盤変動用（耐震用、軟弱地盤用等）</p> <p>・許容曲げ角度を考慮すること。</p> <p>・S II形を現地で切管する場合は、挿し口部に溝加工を行い、切管用挿し口リングを用いて突部を形成する。</p> <p>・S形管の現地切管は、原則として行わない。</p>
S形	500～2,600	D1～D3		
U S形	700～2,600	D1～D4	<p>ロックリングと挿し口突部の間に隙間があるため、その間で受口・挿し口の入り込み、抜け出しが可能である。従って屈曲も可能である。</p> <p>ロックリングと挿し口突部の掛け合わせにより、受口・挿し口の離脱を防止する。</p> <p>継手の水密機構は、U形と同じである。</p>	<p>・対地盤変動用（耐震用、軟弱地盤用等）</p> <p>・常用圧力 特に制限なし</p> <p>・継手伸縮量 直管は、管長の ±0.5%</p> <p>・抜出し力の働く箇所には適切な防護が必要</p>

